



令和4年度 厚生労働省補助事業

ゼロ災職場をめざそう

KYT

イラストシート集



こんなことは
ありませんか？



人は誰でも「ウッカリ」（錯覚）、「ボンヤリ」（不注意）、「危ないとわかっていながら」（横着、省略）、をやってしまうものです。

このようなヒューマンエラーがもたらす災害が後を絶ちません。

本書では一人ひとりの危険感受性を高め、ヒューマンエラーによる事故を防止するための **KYT手法** を学びます。

日々の、KYT手法を取り入れたミーティングの活性化のために、ぜひご活用ください。

目次

| | |
|-----------------------|----|
| KYTって何？ | 2 |
| KYT基礎4ラウンド法の手順 | 3 |
| さあKYT（第1ラウンド）をやってみよう！ | 5 |
| 実践！ イラストシート〈24シート〉 | 10 |
| 1ラウンド参考例 | 34 |

KYTって何？

KYTとは

「KYT」とは、危険予知訓練（Kiken Yochi Training）のことです。この訓練（KYT）を職場で日々実践し、継続していくことで、ヒューマンエラーによる事故を防止しようとするものです。

K

危険
Kiken

Y

予知
Yochi

T

訓練
Training

具体的には、継続的にKYTを行うことによって、次の効果が期待できます。

- ① 危険を危険として気づく**感受性を鋭くする**
- ② 限られた時間内で話し合うことで**集中力を高める**
- ③ 対策を出し合うことで**問題解決能力を向上させる**
- ④ ホンネの話し合いの中で**やる気を高めることができる**
- ⑤ 危険を解決するだけでなく、**明るくいきいきとした「ゼロ災」職場づくりを目指す。**

KYTの進め方

KYTで用いられる代表的な手法として「**KYT基礎4ラウンド法**」があります。これは、チームで作業にひそむ危険について話し合い、考え合って、お互いに危険を共有し危険への対策を決めて、それを実行する手法です。いわば、安全を確認して行動するための日常的な訓練手法です。

リーダーを中心に次の第1～第4ラウンドの手順（P.3～P.4）で話し合いを進めましょう。

KYT基礎4ラウンド法の手順

第1ラウンド **どんな危険がひそんでいるか：現状把握**

イラストシートにひそむ危険を発見します。危険を出すときは作業者になりきり、「**危険要因**」と、その要因が引き起こす「**現象(事故の型)**」でできるだけ具体的に表現してみましょう。みんなでワイワイガヤガヤ意見を出し合い、発言を書き留めましょう。書き出された危険を全員で見直し、加筆・訂正しましょう。

※第1ラウンドを行う際には、P.5～P.9の解説をあわせてご覧ください。



このイラストを見て考えられる危険をどんどん出し合おう!



状況：あなたは、外部非常階段の扉の塗装を行うため、ペーパーがけをしている



顔を近づけてペーパーがけをしているので風で粉がとび散り目に入る

風にあおられて扉が開まり手をはさまれる



踏み台が手すりに近く高いので、後ろ向きで降りようとしたとき、手すりを越えて転落する

第2ラウンド **これが危険のポイントだ：本質追究**

出された危険のうち「**重要な危険**」だと思う項目を出し合い、その中からさらに重要である項目を**1つから2つ**に絞り込みます。絞り込まれた項目を「**危険のポイント**」とし、最後に**指差し唱和**して確認しましょう。

- ・第1ラウンドで出された危険のうち、重要な危険に○印
- ・さらにしぼりこんで危険のポイントに◎印とアンダーラインをひく

- ① 風にあおられて扉が開まり手をはさまれる
- ② 踏み台が手すりに近く高いので、後ろ向きで降りようとしたとき、手すりを越えて転落する
- ③ 風にあおられて扉が開き、体によろけて踏み台を踏みはずして転落する
- ④ ドアの仕上がりを見ながら、踏み台から降りようとして踏み台のすぐ近くにあるパンキ缶につまずき、階段から転落する。
- ⑤ 顔を近づけてペーパーがけをしているので風で粉がとび散り目に入る

第3ラウンド

あなたならどうする：**対策樹立**

「危険のポイント」について、どのように対応するか、「**実行可能な対策**」を考えます。実践的で具体的な行動内容にすることが大切です。「危険のポイント」ごとに、**2～3項目**ほど書き出したら、全員で見直し、必要があれば加筆・訂正しましょう。

実行可能な対策

1. 踏み台を壁側に寄せる
2. 墜落制止用器具着用
3. 踏み台を開いた扉の内側へ置く



第4ラウンド

私たちはこうする：**目標設定**

チーム行動目標

踏み台を使って外部非常階段の扉のペーパーがけを行うときは、踏み台を壁側に寄せて置こう ヨシ!



第3ラウンドで出された「実行可能な対策」のうち、「危険のポイント」を解決するのに必要な当面の行動内容を重点実施項目として決めていきます。そして重点実施項目を具体化した「チーム行動目標」を設定します。

第4ラウンドの次は「確認」で、最後に「***指差し呼称項目**」を設定します。

※「指差し呼称項目」は、第4ラウンドで決めた対策としての重点実施項目に関連して、実際に現場で「指差し、呼称して」確認すべき項目のこと。（第2ラウンドで決めた危険のポイントにおける危険な状態が解消されたことや、自分の安全な行動を確認する内容で設定）

さあKYT（第1ラウンド）をやってみよう！

先ほどのKYT基礎4ラウンド法を使って、次のイラストシートを題材に、第1ラウンドの演習をしてみましょう。

第1ラウンドは「現状把握」のラウンドですから、作業の中にひそんでいる危険をメンバー全員で共有することが大切です。そのための要点を紹介しますので、それらを踏まえながら、やってみましょう。

また、P.10以降には24種のイラストシートを掲載していますので、これらの作業場面に対しても第1ラウンドをやってみましょう（第1ラウンドの参考例付き）。

演習！
イラストシート

どんな危険がひそんでいるか



状況 あなたは、脚立を使って、窓ふきをしています。

危険のとらえ方と表現の仕方

第1ラウンドでは、作業の中にどのような危険がひそんでいるか、現状把握のために、イラストシートの中の作業者になりきり、自分で作業しているつもりで危険を思い浮かべてみましょう。また、イラストシートに描かれている作業の一場面だけでなく、その作業の前後の動きまでもイメージを膨らませると、いろいろな危険をとらえることができます。

これらの他、危険を見つけ出し、メンバーに確実に伝えるための要点を、次に紹介します。

～第1ラウンドの要点～

要点

1

危険を“危険要因”と“現象”の組合せで表現しよう

要点

2

“現象”は“事故の型”で言い切ろう

要点

3

“危険要因”を掘り下げよう

要点

4

“危険要因”を具体的に表現しよう

要点

5

“危険要因”は肯定的に表現しよう

| | |
|-------------|------------|
| 1R, 2R | |
| 1 | ～なので～して～なる |
| ② | ～…………… |
| ③ | ～…………… |
| 4 | ～…………… |
| ⋮ | |
| ⑦ | ～…………… |
| 3R, 4R | |
| 3-1 | …～する ※7-1 |
| ※ -2 | ～…………… -2 |
| -3 | ……………… -3 |
| チーム行動目標 | |
| ～する時は～をして | ～…………… |
| ～しよう ヨシ! | …しよう ヨシ! |
| ⑦ ～……………ヨシ! | ⑦ ……………ヨシ! |

P.7～詳しく見ていきましょう!

要点

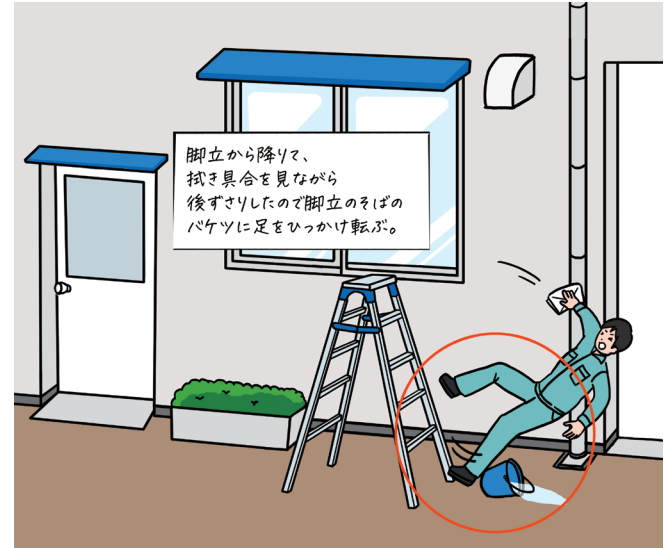
1

危険を“危険要因”と“現象”の組合せで表現しよう

「～なので」、「～して」、「～なので～して」(危険要因) + 「～になる」、「～する」(現象)

“危険要因”はできるだけ“不安全な行動(動作)”と“不安全な状態”の組合せで表現しましょう。窓ふき作業のイラストシートの場合、例えば、「脚立から降りて、拭き具合を見ながら後ずさりしたので、」(不安全な行動)「脚立のそばのバケツに」(不安全な状態)「足をひっかけ転ぶ。」(現象)という表現が一つの例としてあげられます。

ただし、あまり「～なので～して～になる」という表現にこだわると危険が出づらくなります。最初のうちは意見の出やすい雰囲気づくりを優先し、見直しをする過程で表現を修正していきましょう。



要点

2

“現象”は“事故の型”で言い切ろう

○ 落ちる／転ぶ／ぶつかる／はさまれる／巻き込まれる／手を切る／…

このような表現により、事故の型でずばり言い切りましょう。

×

「～かもしれない」、「～の危険がある」や、「ケガ(ねんざ、骨折)をする」や「死亡する」との事故の結果の表現も不要です。

要点

3

“危険要因”を掘り下げよう

要点① 参照の「足をひっかけ転ぶ」という危険がまず思い浮かぶとします。

その場合、なぜ「足をひっかけ転ぶ」のでしょうか？ 現象を思い浮かべたら、今度はその時の**不安全な行動**(人の面)や**不安全な状態**(物の面)までをも掘り下げていくのです(要点① 参照)。

要点

4

“危険要因”を具体的に表現しよう

危険がどのようにして起こるかをメンバーがお互いに分かり合い、気づき合うために、具体的に表現することが大切です。

○ 例えば、「**中腰で持って～**」、「**つま先で立って～**」などメンバーがその時の行動や状態を思い描けるように、具体的に表現しましょう。

✕ 「**無理な姿勢で～**」、「**不安定で～**」、「**～が悪く**」という抽象的な表現では、何が、どのように、「**無理、不安定、悪い**」のかがお互いに分かり合えません。

5つの要点を踏まえて
考えられる危険を
どんどん出そう!

要点

5

“危険要因”は肯定的に表現しよう

✕ 保護帽を着用していないので／墜落制止用器具をしていないので／…
ともすると、このように、対策を思い浮かべて「**～していない**」といった否定的な表現で危険要因をとらえた発言が出されがちです。これでは、危険要因そのものが見えてきません。

○ 「**身を乗り出して～**」、「**顔を近づけて～**」などと肯定的に表現しましょう。

※要点①～⑤を踏まえ、演習用シートにおける第1ラウンドの表現例をP.9に掲載していますので、参考にして下さい。

p.5演習の表現例

第1ラウンド

1. 力を入れて汚れのついた雑巾をもみ洗いしたので、はねた水が目に入る。
2. 脚立から離れた窓を拭こうと身を乗り出したので、脚立がぐらついてよろけて落ちる。

地面まであと2段なので

3. 脚立から飛び降りて、着地した時足をひねる。
4. 昇りながら窓に近づこうと窓側に足を寄せたので濡れた踏みさんですべり転落する。
5. 脚立から降りて、拭き具合を見ながら後ずさりしたので脚立のそばのバケツに足をひっかけ転ぶ。



- 第2～第4ラウンドはP.3～4記載の手順に沿って、やってみましょう。
- 参考図書：「ゼロ災害実践シリーズ 危険予知訓練」（中災防発行）

「そのまま使えるKYTイラストシート集 ～みんなでやろう！危険予知訓練～（製造業・建設業等編）」（中災防発行）

どんな危険がひそんでいるか

リーチ式フォークリフトによる運搬



状況

あなたは、フォークリフトで狭い倉庫内にある荷を運んでいる。

どんな危険がひそんでいるか 鋼材の溶断



状況

あなたは、ガス溶接機で鋼材を溶断している。

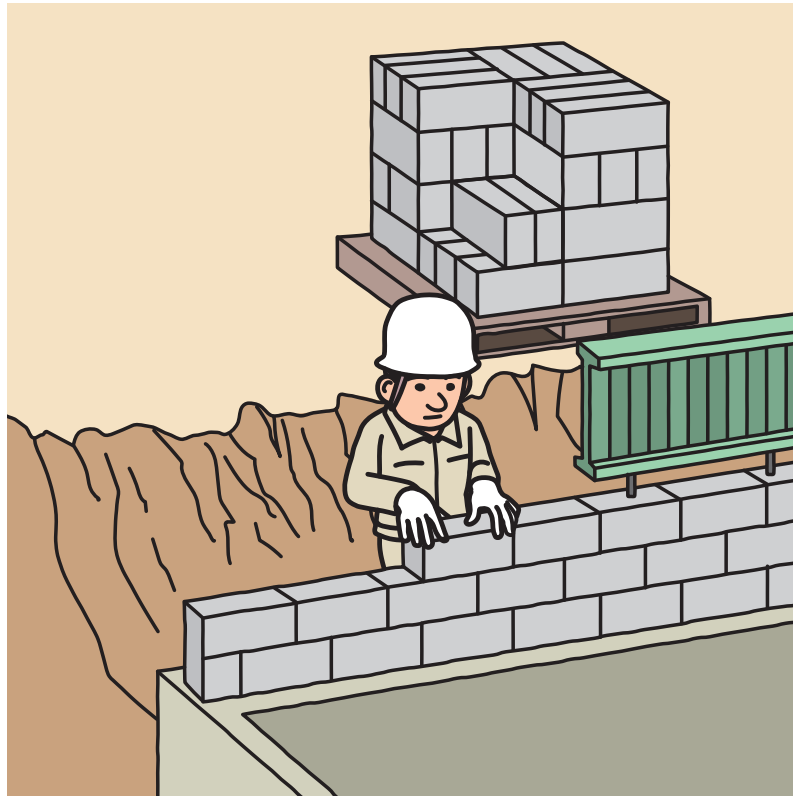
どんな危険がひそんでいるか 製品積み上げ



状況

あなたは、工場よりコンベヤーで運ばれてくる製品が入った段ボール(1個5kg)を積み上げている。

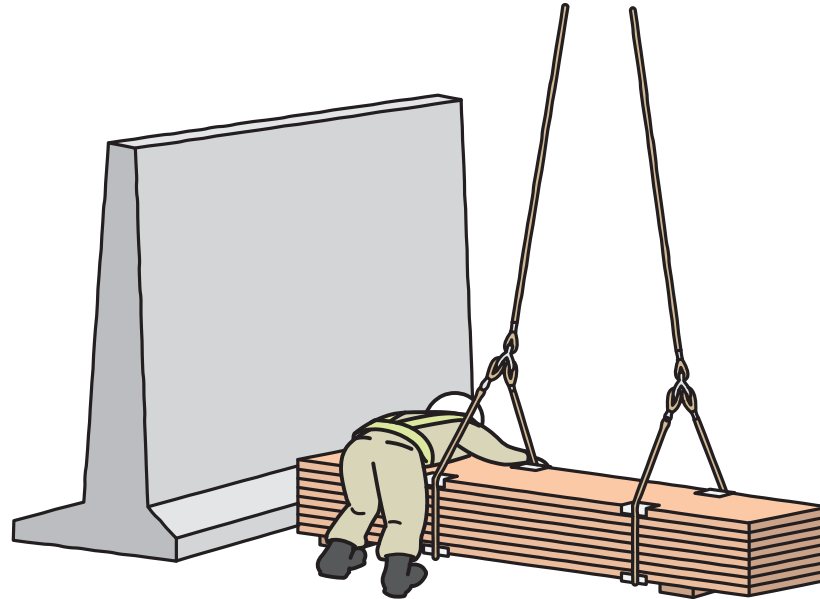
どんな危険がひそんでいるか ブロック積み



状況

あなたは、掘り起こした段差（0.8m）で土止め用のブロック（1個3kg）積みをしている。

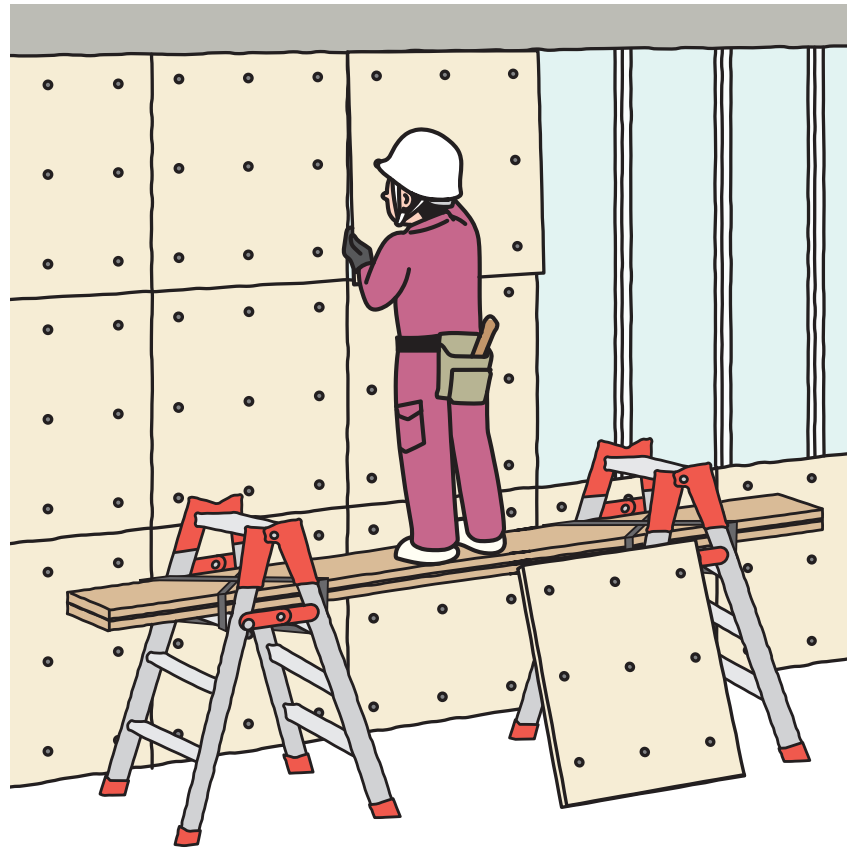
どんな危険がひそんでいるか 玉掛け



状況

あなたは、型枠材をトラックに積み込むため、玉掛けをしている。(長さ3.6m 重さ150kg)

どんな危険がひそんでいるか 脚立足場上でのボード貼り



状況

あなたは、脚立足場の上で壁のボード(900×900mm)を貼っている。

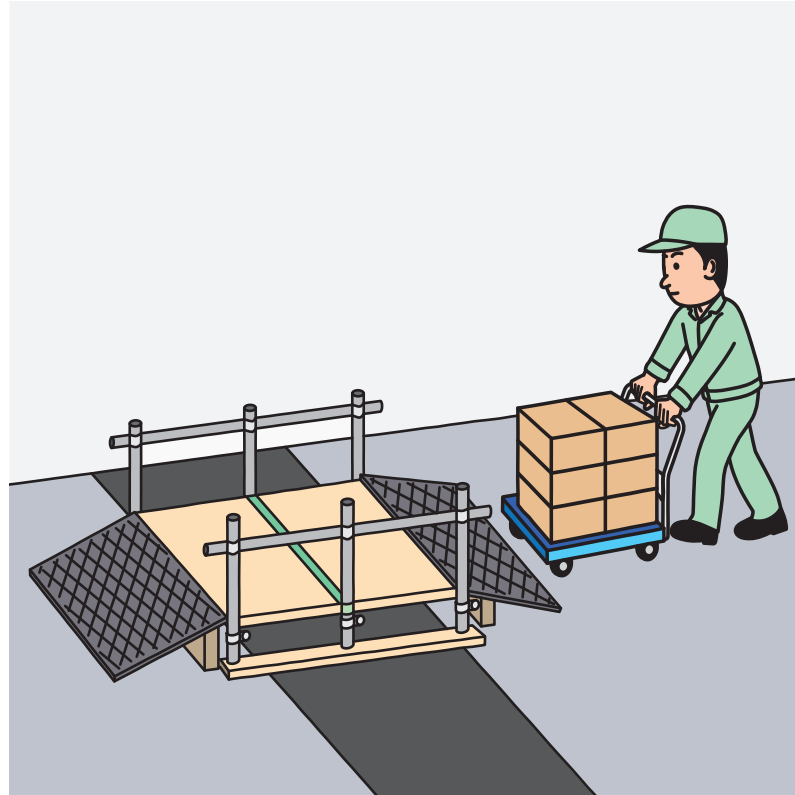
どんな危険がひそんでいるか トラックからの荷下ろし



状況

あなたは、200kgの荷物を載せたロールボックスパレットを
テールゲートリフトのあるトラックの荷台から引き出そうとしている。

どんな危険がひそんでいるか 台車運搬



状況

あなたは、ダンボール箱（1箱10kg入り）60kgを載せた台車を押しながら、床補修のため厚ベニヤ板で設置した仮設の橋を渡ろうとしている。

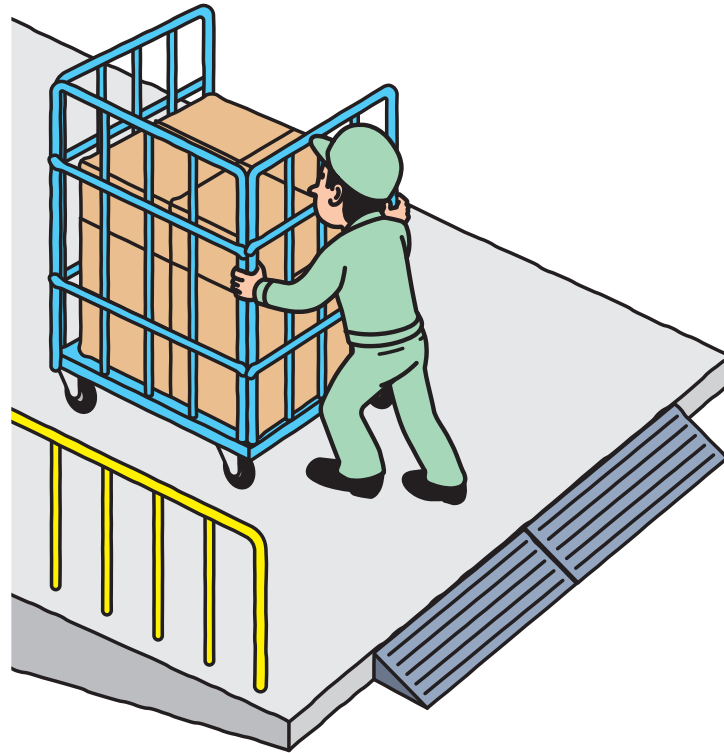
どんな危険がひそんでいるか フォークリフト走行



状況

あなたは、荷物をフォークリフトに積んで、別の保管場所に移動させている。

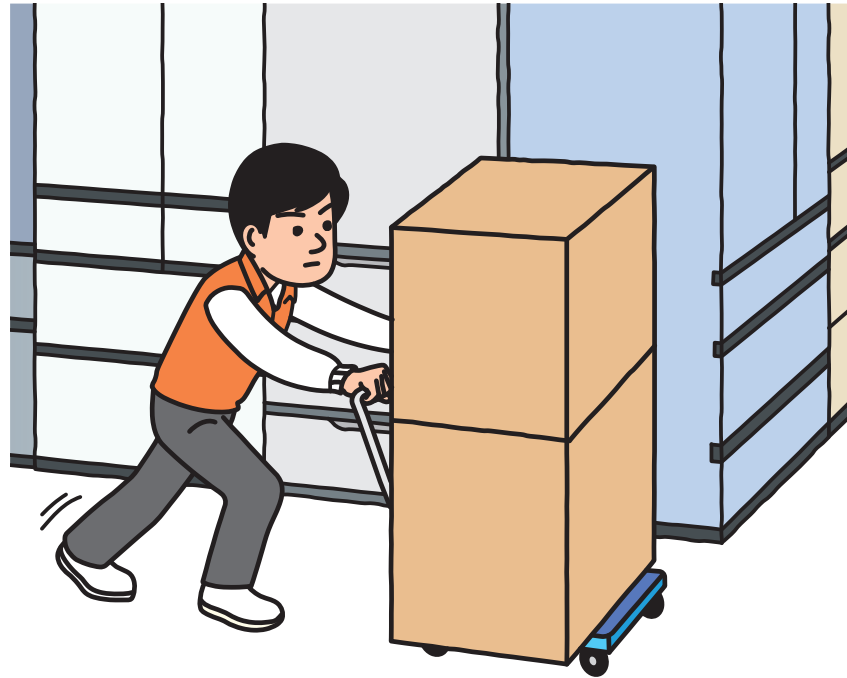
どんな危険がひそんでいるか ロールボックスパレットによる商品の搬出



状況

あなたは、ロールボックスパレットを使い斜面通路を下って、商品（総重量100kg）を倉庫から搬出している。

どんな危険がひそんでいるか 商品の陳列



状況

あなたは、商品（総重量60kg）を陳列するために、
台車を使って運んでいる。

どんな危険がひそんでいるか

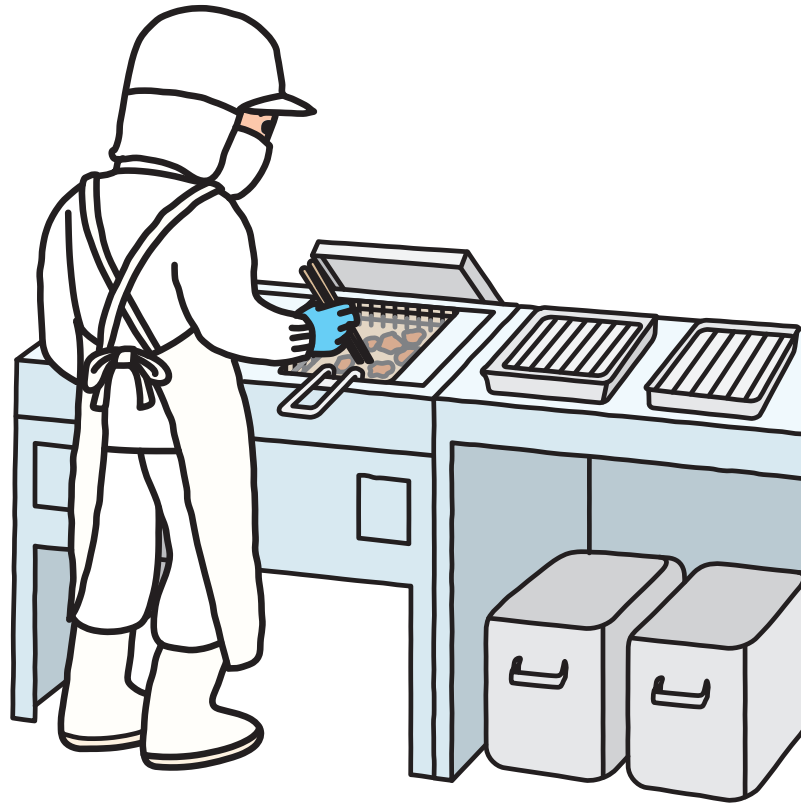
飾りつけ



状況

あなたは、明日からキャンペーンセールが始まるために、POPの飾りつけを行っている。

どんな危険がひそんでいるか 揚げ物



状況

あなたは、調理室のフライヤーで揚げ物をしている。

どんな危険がひそんでいるか

清掃



状況

あなたは、漂白剤と洗剤を使って厨房の床を清掃している。

どんな危険がひそんでいるか

お湯の入った鍋の運搬

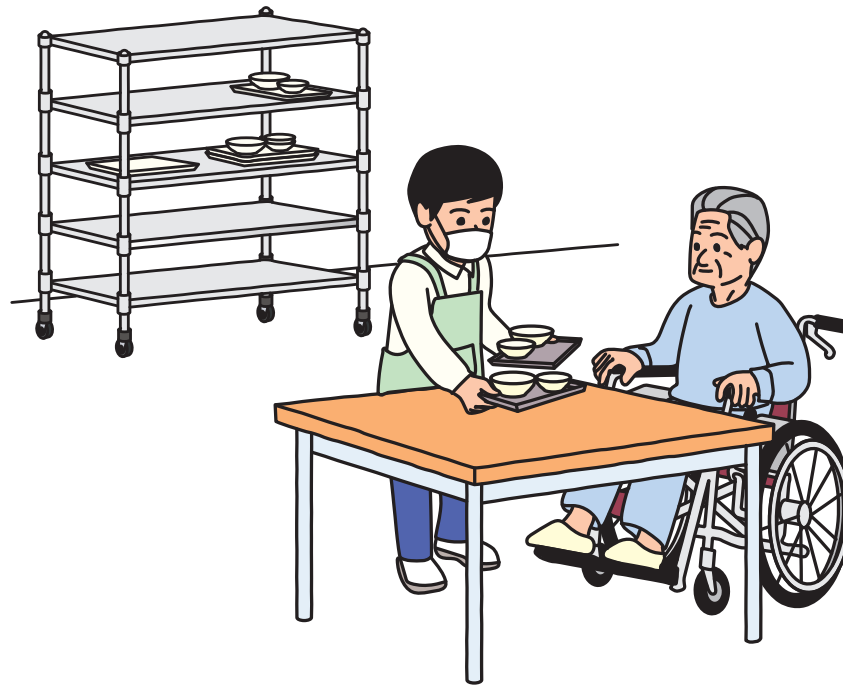


状況

あなたは、寸胴鍋で沸かしたお湯を運んでいる。

どんな危険がひそんでいるか

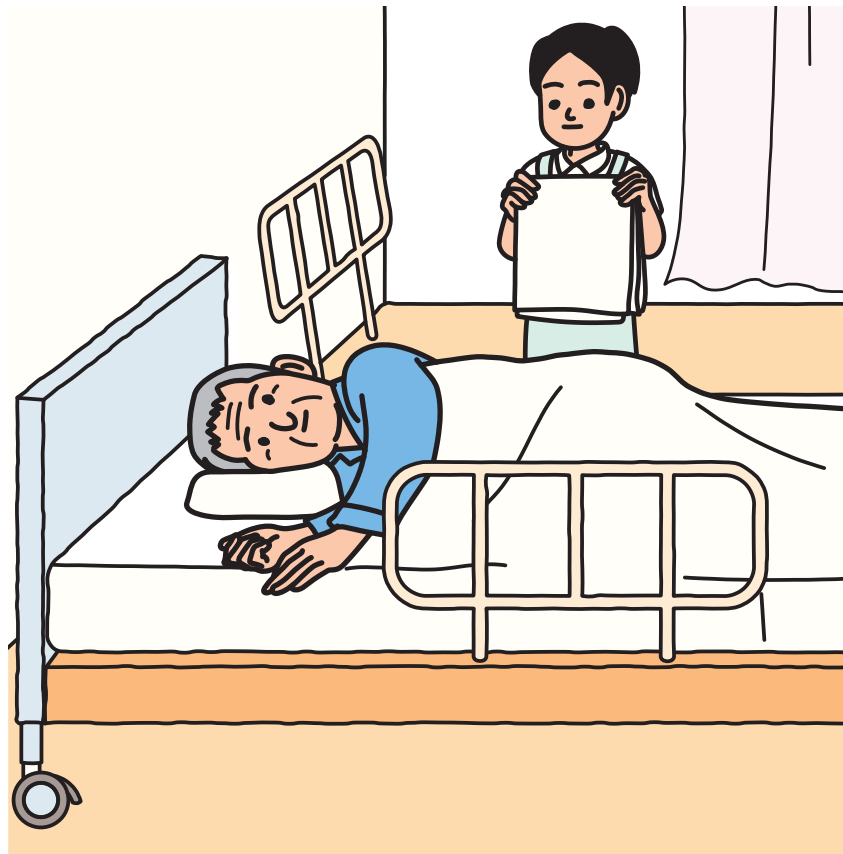
配膳



状況

あなたは、食後の後片付けをしている。

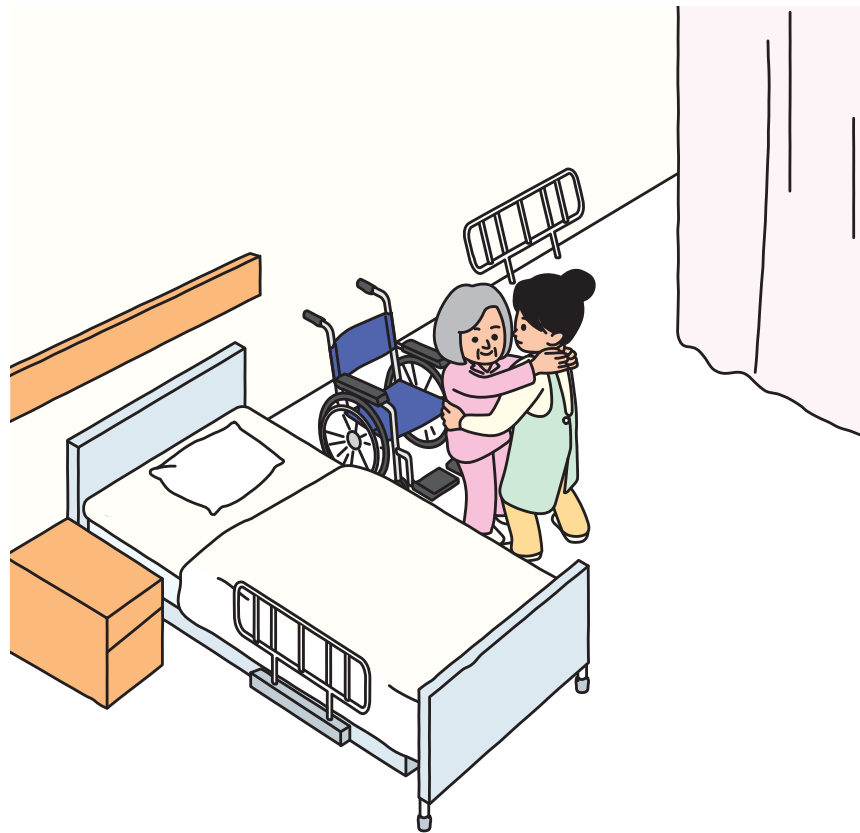
どんな危険がひそんでいるか シーツ交換



状況

あなたは、利用者のシーツを交換している。

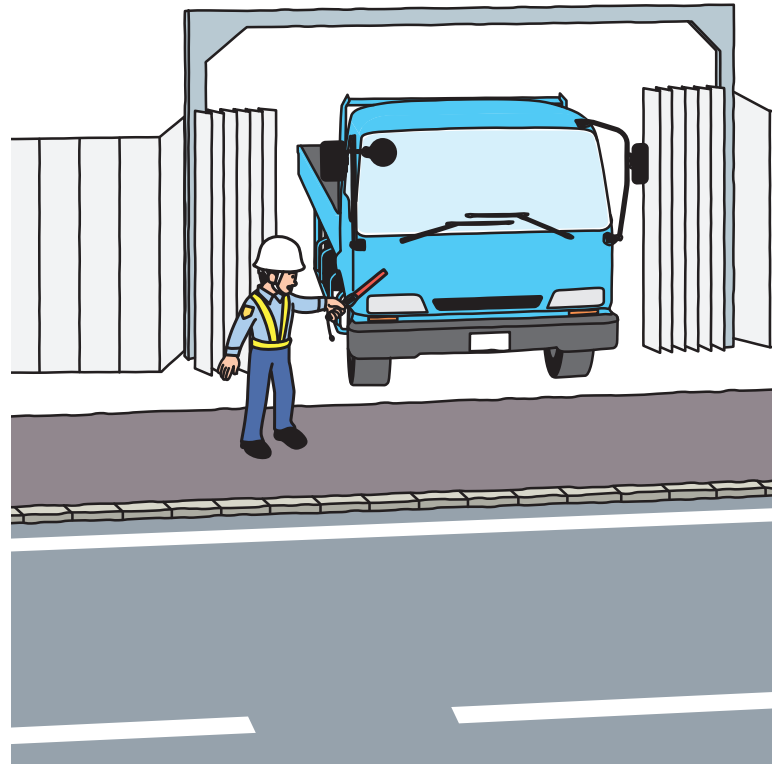
どんな危険がひそんでいるか 車イスからベッドへの移乗



状況

あなたは、利用者を車椅子からベッドに移乗させようとしている。

どんな危険がひそんでいるか 交通誘導



状況

あなたは、工事現場の入り口で、
現場内から出るトラックの交通誘導をしている。

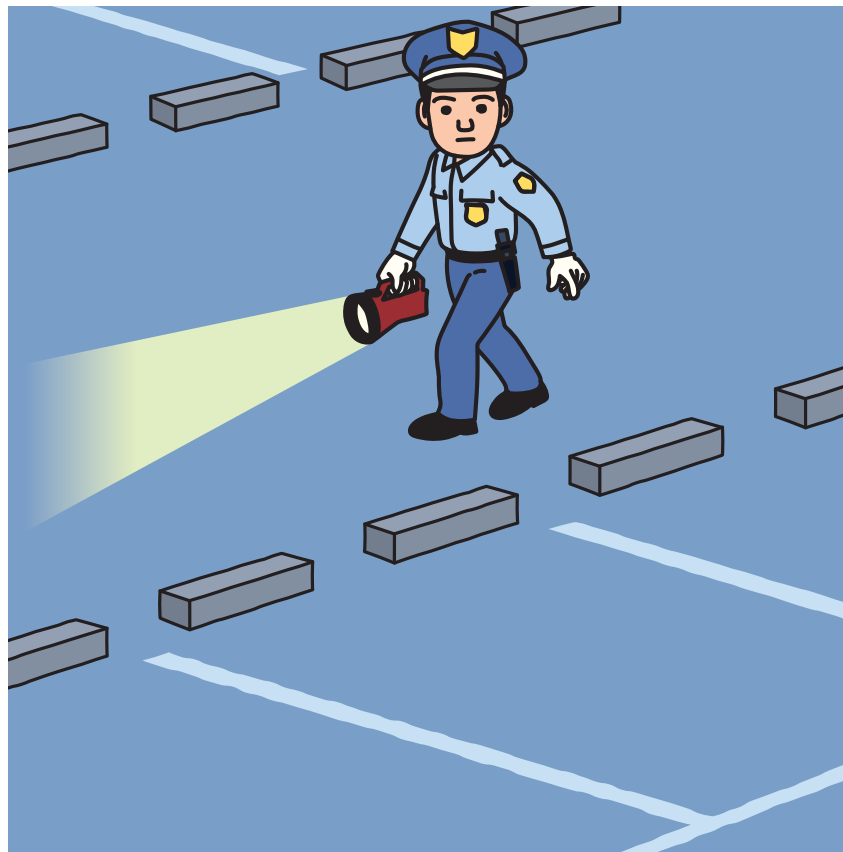
どんな危険がひそんでいるか 輸送警備



状況

あなたは、警備輸送車両に積み込もうと、
硬貨の入った袋（約10kg／1袋）を運んでいる。

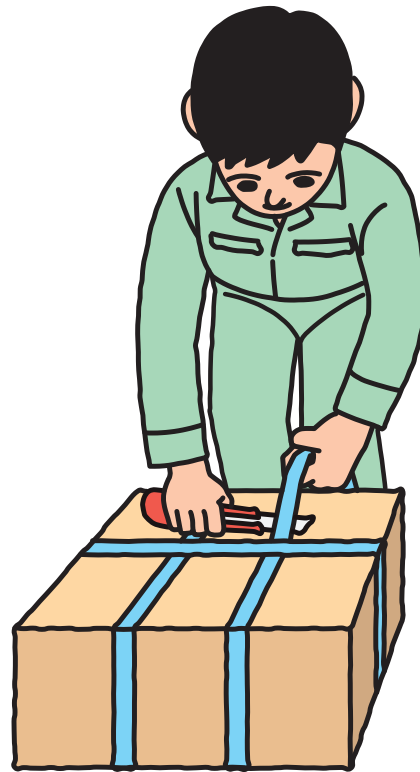
どんな危険がひそんでいるか 施設警備



状況

あなたは、閉店後に、4階駐車場内を巡回している。

どんな危険がひそんでいるか ダンボール開梱

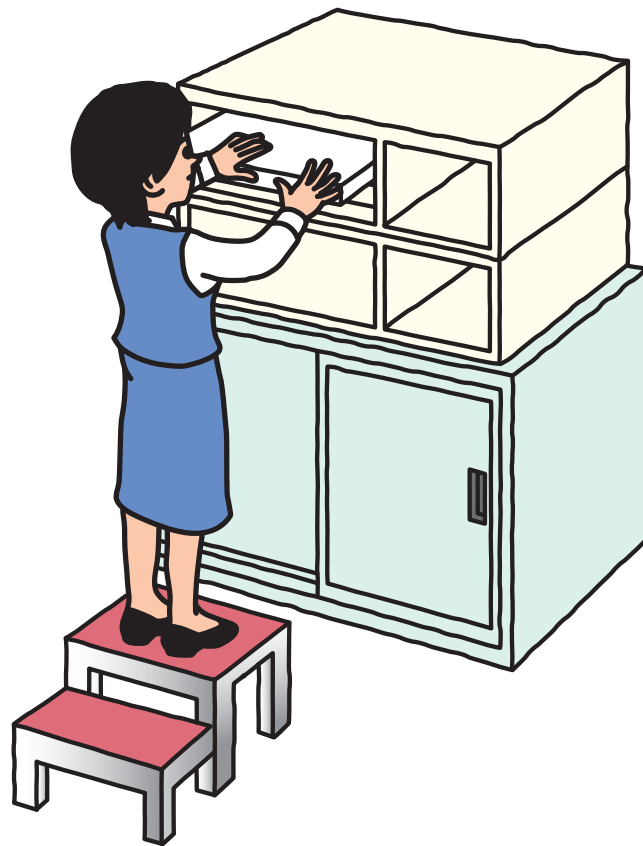


状況

あなたは、ダンボールの開梱のためカッターナイフでビニールテープを切っている。

どんな危険がひそんでいるか

資料の収納



状況

あなたは、踏み台に上がって資料をキャビネットに収納している。

どんな危険がひそんでいるか

洗剤の移し替え



状況

あなたは、18ℓ缶に入っている洗剤を別の容器に入れている。

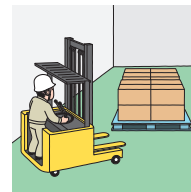
KYTイラストシートに係る 1ラウンド参考例 24シート

イラストシート

1

リーチ式フォークリフトによる運搬

倉庫内の中央に置いた荷物のパレットからフォークリフトのリーチが抜けるのを見ながらバックしたので、うしろの壁に体をぶつける。



イラストシート

2

鋼材の溶断

30分以上同じ姿勢で作業していて、ガス溶接機を一旦片付けようと立ち上がろうとしたとき、痺れていた足がよろけて、足元のバケツにつまずき転倒する。



イラストシート

3

製品積み上げ

踏み台の正面から離れた左奥の上段に、段ボールを積み上げようとしてつま先立ちで身を乗り出したので、踏み台から落ちる。

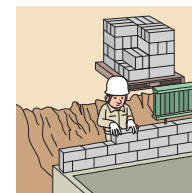


イラストシート

4

ブロック積み

1つのブロックを両手で持ち、掘り起こした段差に飛び降りて転倒する。

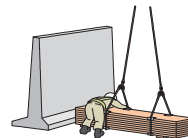


イラストシート

5

玉掛け

ワイヤーの位置を調整しようと、型枠材に体重をかけたとき、型枠材が動いてワイヤーを持っている指がはさまれる。

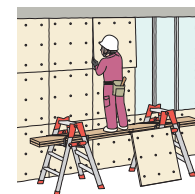


イラストシート

6

脚立足場上でのボード貼り

脚立足場の上で、次のボードを貼る場所を見ながら、右に移動したので、脚立足場に立てかけていたボードに足をひっかけて足場から転落する。



イラストシート

7

トラックからの荷下ろし

後ろに引っ張っていたロールボックスパレットがテールゲートリフトとトラック荷台の段差で止まったので、そのままの向きでパレットをカー一杯引っ張り、勢いよく動いてきたパレットが体に当たりリフトから転落する。

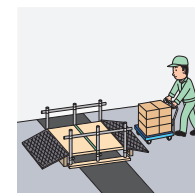


イラストシート

8

台車運搬

台車に勢いをつけてスロープを駆け上ろうと、小走りで台車を押したとき、スロープの段差に台車の車輪がひっかかり、前のめりに転倒する。

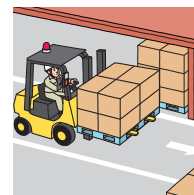


イラストシート

9

フォークリフト走行

フォークを高く上げたまま走行したので、保管場所の低い屋根にマストが激突して、そのはずみでフォークリフトから転落する。

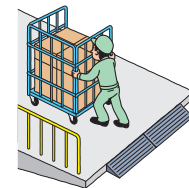


イラストシート

10

ロールボックスパレットによる商品の搬出

斜面通路の端に設置してある短く急なスロープからロールボックスパレットを下ろすとき、通路とスロープの段差でパレットの向きが斜めになり、そのまま動いて片方のキャスターがスロープに乗らずに傾いて落ち、ロールボックスパレットが倒れて下敷きになる。

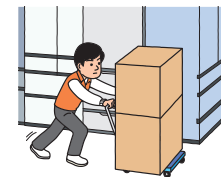


イラストシート

11

商品の陳列

急いでいたので、勢いをつけて走り出そうと台車を強く押したとき、上段の荷物が手前に倒れて、荷物が顔に当たる。



イラストシート

12

飾りつけ

POPを両手で持って脚立を登ったので、脚立の狭い踏みさんに足をかけそびれて、脚立から落ちる。

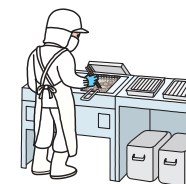


イラストシート

13

揚げ物

揚げ物の状態を見ようと、フライヤーに顔を近づけた時、フライヤーからはねた油が顔にかかる。



イラストシート

14

清掃

後ろに下がりながらモップで床を拭いていたので、後方の床に置いていたバケツに足をひっかけて、転ぶ。



イラストシート

15

お湯の入った鍋の運搬

お湯の入った鍋が冷めないように、小走りで運んだので、お湯がこぼれて体にかかる。



イラストシート

16

配膳

テーブルの下に落ちた食器をしゃがんで片付けていたとき、入居者に声をかけられたので、急いで立ち上がろうとして頭をテーブルにぶつける。

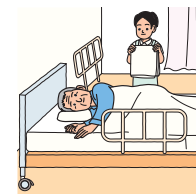


イラストシート

17

シーツ交換

マットに顔を近づけてシーツの手前の半分をマットから外して、利用者に手前に移動するように声をかけたとき、利用者が手前に大きく寝返りをうち、利用者の左手が顔に当たる。



イラストシート

18

車イスからベッドへの移乗

ベッドから離れた位置で車椅子から利用者を抱きかかえたまま後ずさりして、利用者を支えきれず、後方に転倒する。

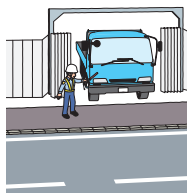


イラストシート

19

交通誘導

トラックの前に出てトラックを誘導しながら、車道に出たので、車道の端を走って来た自転車とぶつかる。



イラストシート

20

輸送警備

建物前のプラットフォームに置いた硬貨の入った袋を1つずつ中腰で立て続けに車両へ積み込んでいたので、腰を痛める。

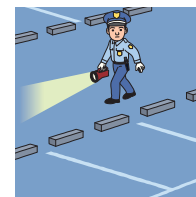


イラストシート

21

施設警備

照明が消えた4階駐車場内を巡回中、懐中電灯で壁際を照らしながら進んでいたのに、足元の車止めにつまずき、転倒する。



イラストシート

22

ダンボール開梱

ビニールテープを片手で強く上に引っ張り上げ、その下にカッターを斜めに差し込んでビニールテープを切ったとき、ビニールテープが切れた反動で床に腰を打つ。

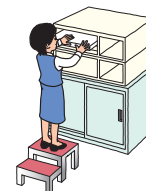


イラストシート

23

資料の収納

キャビネットの奥に資料が挟まり、他の資料が入らないので、奥の資料を取ろうと、踏み台の先端に立ち、右手をキャビネットの奥に伸ばしたとき、踏み台がぐらつき転倒する。



イラストシート

24

洗剤の移し替え

洗剤を早く入れ替えようと、18ℓ缶を大きく傾けたとき、別の容器に移った洗剤が大きくはねて目に入る。



令和4年度 厚生労働省補助事業により発行

「ゼロ災職場をめざそう KYTイラストシート集」

令和5年3月8日第1版第1刷発行

編 者 中央労働災害防止協会

発 行 者 平山 剛

発 行 所 中央労働災害防止協会

<https://www.jisha.or.jp>

〒108-0023 東京都港区芝浦3-17-12 吾妻ビル9階

電 話 03-3452-6849

印 刷 (株)アイネット

デザイン制作 KeyProCreative

イ ラ ス ト 佐藤 正

©JISHA2023



本書の内容は著作権法によって保護されています。
本書の全部または一部を複写(コピー)、複製、転載すること(電子媒体への加工を含む)を禁じます。